

事業報告書

自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日

社会福祉法人 西春福社会

1.法人運営の状況

(1)理事会の開催

理事会を次のとおり開催した。

令和2年6月4日(木)

出席者 理事 高桑金平 長岩嘉文 阿部久邇夫 水野高作
岡部憲子
監事 高柳利清 橋本俊也
事務局 山田雅貴

付議事項

- ・ 令和元年度社会福祉法人西春福社会事業報告について
- ・ 令和元年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金収支決算について
- ・ 社会福祉法人西春福社会社会福祉充実計画(案)について
- ・ 社会福祉法人西春福社会役員候補者の選任について
- ・ 社会福祉法人西春福社会定時評議員会について
- ・ 理事長の職務執行状況について

令和2年9月4日(金)

出席者 理事 高桑金平 長岩嘉文 阿部久邇夫 水野高作
長根美治郎 岡部憲子
監事 高柳利清
事務局 山田雅貴
欠席者 監事 橋本俊也

付議事項

- ・ 社会福祉法人西春福社会 知的障害者共同生活援助施設(グループホーム)の建設について
- ・ 社会福祉法人西春福社会第2回評議員会について

令和2年9月15日(水)

決議の省略 同意理事 高桑金平 長岩嘉文 阿部久邇夫 水野高作
長根美治郎 岡部憲子

付議事項

- ・ 社会福祉法人西春福社会 知的障害者共同生活援助施設(グループホーム)の建設地の購入について

令和2年12月2日(水)

出席者 理事 高桑金平 長岩嘉文 阿部久邇夫 水野高作
長根美治郎 岡部憲子
監事 高柳利清 橋本俊也
事務局 山田雅貴

付議事項

- ・ 令和2年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金収支補正予算(第1号)(案)について
- ・ 社会福祉法人西春福社会第3回評議員会について
- ・ 社会福祉法人西春福社会職員給与規程の改正について
- ・ 理事長の職務執行状況について

令和3年3月5日(金)

出席者 理事 高桑金平 長岩嘉文 阿部久邇夫 水野高作
長根美治郎 岡部憲子
監事 高柳利清
事務局 山田雅貴
欠席者 監事 橋本俊也

付議事項

- ・ 社会福祉法人西春福社会経理規定の改正について
- ・ 令和2年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金収支補正予算(第2号)(案)について
- ・ 令和3年度社会福祉法人西春福社会事業計画(案)について
- ・ 令和3年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金収支予算(案)について
- ・ 社会福祉法人西春福社会第4回評議員会について
- ・ 役員賠償責任保険契約について
- ・ 理事長の職務執行状況について

(2)評議員会の開催

評議員会を次のとおり開催した。

令和2年6月23日(火)

出席者 評議員 青木勲男 入江徹男 酒井知子 檜吉真壽
福井昌子 堀場金幸 森川妙子
理事長 高桑金平
監事 高柳利清
事務局 岡部憲子 山田雅貴
欠席者 評議員 橋本俊也

付議事項

- ・ 令和元年度社会福祉法人西春福社会事業報告について
- ・ 令和元年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金収支決算について
- ・ 社会福祉法人西春福社会社会福祉充実計画(案)について
- ・ 社会福祉法人西春福社会役員を選任について

令和2年9月15日(火)

出席者 評議員 青木勲男 入江徹男 酒井知子 檜吉真壽
福井昌子 堀場金幸 森川妙子
理事長 高桑金平
監 事 高柳利清
事務局 岡部憲子 山田雅貴
欠席者 監 事 橋本俊也

付議事項 ・ 社会福祉法人西春福社会 知的障害者共同生活援助施設
(グループホーム)の建設について

令和2年12月18日(火)

出席者 評議員 青木勲男 入江徹男 酒井知子 檜吉真壽
福井昌子 堀場金幸 森川妙子
理事長 高桑金平
監 事 高柳利清
事務局 岡部憲子 山田雅貴
欠席者 監 事 橋本俊也

付議事項 ・ 令和2年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金
収支補正予算(案)(第1号)について

令和3年3月23日(火)

出席者 評議員 青木勲男 入江徹男 酒井知子 檜吉真壽
福井昌子 堀場金幸 森川妙子
理事長 高桑金平
監 事 高柳利清 橋本俊也
事務局 岡部憲子 山田雅貴

付議事項 ・ 社会福祉法人西春福社会経理規定の改正について
・ 令和2年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金
収支補正予算(第2号)(案)について
・ 令和3年度社会福祉法人西春福社会事業計画(案)について
・ 令和3年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金
収支予算(案)について

(3) 監事による監査

- ・ 令和2年5月20日(水)、高柳利清・橋本俊也両監事により、令和元年度社会福祉法人西春福社会 事業報告・決算及び関連事項について監査を受けた。
- ・ 令和2年11月20日(金)、高柳利清・橋本俊也両監事により、令和2年度社会福祉法人西春福社会 上半期決算及び関連事項について監査を受けた。

2. 施設運営の状況

令和2年度は、社会福祉充実計画に基づき、グループホーム建設用地を取得した。また、グループホームの設計委託業者を選定し、利用者が暮らしやすく安全に配慮した建物となるよう検討会を重ねた。令和3年度中に建築整備完了を目指す。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、にしはるひまわり作業所まつりをはじめ多くの行事が中止になった。新型コロナウイルス感染症予防対策として、手指消毒・換気・給食時の利用者の対面席の中止・送迎車の利用人数の制限・通所前の検温等を実施した。利用者はほぼ通常どおり通所しているが、他施設との併用が難しいため結果的に利用減となっているケースや利用控えをしている利用者もいる。利用者の生産活動への影響は大きく、自主製品のクッキー販売がイベント等の中止により大きく減額となったほか、廃品活動も大きく減少する結果となった。

(1) 地域交流事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業計画にあげていた以下の事業は中止。

- ・ 平和夏まつり ・ にしはるひまわり作業所まつり ・ 商工祭
- ・ ふれあいフェスタ ・ 福祉映画会

<参加行事>

- ・ 年末夜警(12月20日)

北名古屋市消防団後方支援隊主催の年末夜警を実施した。犬井地区の自治会、子供会の協力を得て多くの住民の方が参加され、作業所利用者・保護者とともに作業所を起点に犬井地区を巡回した。

(2) 施設間交流行事

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業計画にあげていた以下の行事は中止。

- ・ 三施設合同運動会 ・ 三施設職員合同研修会

(3) 日赤奉仕団共同事業

日赤奉仕団と当作業所、共同で農作物の収穫を行った。

玉ねぎの収穫・調理実習は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

<実施事項>

- ・ さつまいもの収穫(10月26日)

(4) 施設外研修事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業計画にあげていた以下の行事は中止。

- ・ 社会見学 ・ 買物実習

(5) 健康管理事業

利用者の健康状況を把握するために、通所前の検温や健康診断を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策で、手指消毒を行うとともに、空気清浄機の設置や窓の開放をして換気に努めた。

<実施事項>

- ・ 健康診断(10月23日)
 (財)名古屋公衆医学研究所集団検診センターに依頼し、施設内で健康診断を実施した。
- ・ 歯科健診(11月5日)
 愛知県歯科医師会の協力で歯科検診、歯磨き指導を実施した。
- ・ 毎月1回、嘱託医による回診を実施した。
- ・ 毎月1回、看護師による体重測定・血圧測定・検温を実施した。

(6)防災対策事業

有事に備え避難訓練等を実施した。

<実施事項>

- ・ 消防避難訓練、通報訓練(9月11日、2月9日)
 地震に因り火災が起きたと想定し、訓練を実施した。避難訓練終了後、消火器の使用方法について説明を受け、水消火器を使用し消火訓練も行った。

(7)文化的活動体験事業

季節及び年の節目ごとの行事を実施した。

<実施項目>

- ・ クリスマス会(12月25日)
 例年は、ボランティアの協力を得て音楽鑑賞等を実施するが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者と職員のみでゲーム等を行った。
- ・ 仕事納め(12月28日)
 例年は、保護者同伴で作業所の大掃除と昼食会を行うが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者と職員のみで実施した。
- ・ 仕事始め(1月4日)
 例年は、保護者同伴で実施するが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用者と職員のみで行った。
- ・ 節分(2月2日)
 文化活動で作った巨大な段ボール製の鬼をめがけ、豆まきを行った。

3. 令和2年度決算の状況

(1)法人全体及び貸借対照表について

社会福祉法人として地域における公益性を発揮するため、法人・施設の財務管理の側面からいえば、中長期にわたる事業経営管理が重要視される。そこで、以下の指標で当法人の財務分析をした。

- ・ 自己資本比率
 法人の安全性を示す指標で比率が高いほど安定しているといえる。一般的に50%が目安とされている。
 当法人の自己資本比率は、80%である。

- ・ 固定比率

法人の長期的な安定性を示す比率。長期に保有する固定資産は、短期的に返済を迫られる資金を充てるのは不都合であり、なるべく自己資本によって調達されるべきで100%を切るのが理想とされている。

当法人の固定比率は、68%である。

- ・ 流動比率

短期(1年以内)の負債の支払い能力を表す比率。

当法人の流動比率は、7,798%と高い数値を示している。

当面の負債に対する支払い能力は十分といえる。

(2) 生産活動事業について

令和2年度生産活動事業総収入高は、6,166,652円であった。前年度と比較すると594,743円減少した。新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベントが中止になりクッキー販売が大きく低迷したこと、廃品回収活動が減少したことに加え、ヘルシーの受注量が減ったことが主な要因である。

配分金平均支給額は、一人一ヶ月あたり16,340円であった。前年度と比較すると256円減少した。

各事業ごとに、令和2年度、令和元年度を比較すると次の表のとおりとなる。

生産活動収入比較表 (R2・R1)

